

市会事務局決算の概要

1 決算総括

令和7年度は、市会運営委員会及び総務消防委員会において、会議資料のペーパーレス化を実施するとともに、11月市会における京都基本構想の策定や、2月市会における新京都戦略の改定に係る審議をはじめ、円滑な議会運営が行えるよう適切なサポートを行った。

また、市役所北庁舎のしゅん工に伴い、北庁舎3階に、常任委員会等のモニター視聴設備やテーブルセット等を備えた「市会オープンスペース（市会モニター視聴室）」を新設したほか、令和7年6月からは、常任委員会及び予算・決算特別委員会等の直接傍聴を実施し、開かれた市会をより一層推進した。

さらに、「見える市会」「伝わる市会」を推進するため、新たに京都市立芸術大学と連携し、京都市会プロモーションマークを制作するなど、京都市会を身近に感じていただけるような、更なる広報の充実を図った。

今後とも、二元代表制の一翼を担う京都市会が、市民の皆様からの負託に応え、市民生活の向上と持続可能な市政の推進に貢献するための取組を積極的に進めていく。

2 重点取組の実績

取組名	実 績
円滑な議会運営のサポート	・円滑な議会運営に向けた各会派及び執行機関との確実な連携調整の実施 ・市会運営委員会及び総務消防委員会において、クラウドシステムを活用した会議資料のペーパーレス化の実施 ・11月市会における京都基本構想の策定や、2月市会における新京都戦略の改定に係る審議等をサポート
開かれた市会の推進	・北庁舎3階に常任委員会等のモニター視聴設備やテーブルセット等を備えた「市会オープンスペース（市会モニター視聴室）」を新設 ・常任委員会、予算・決算特別委員会及び京都基本構想審査特別委員会の直接傍聴の実施
「見える市会」「伝わる市会」の実現に向けた取組の充実	・京都市立芸術大学と連携した京都市会プロモーションマークを新たに制作 ・京都市立美術工芸高等学校と連携した効果的な市会広報につながる作品や市会日程等の周知ポスターのデザインを制作

(単位:千円)

3 市会事務局所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
諸 収 入	-	102,565	-	△ 102,565
計	-	102,565	-	△ 102,565

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
議 会 費	632,000	593,267	-	38,733
議 会 費	632,000	593,267	-	38,733

4 市会事務局主要施策の概要

〔当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。〕

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	632,000	632,000	593,267	38,733
(1 議会運営)		632,000	632,000	593,267	38,733
地 方 分 権 に 対 応 し た 議 会 機 能 の 充 実	政務活動費	434,160	434,160	425,900	8,260
	他都市行政調査、本会議録・委員会記録作成等	101,601	101,601	81,035	20,566
	市民に向けた情報発信 市会だより作成・配布 会議録検索システム インターネット動画配信 本会議テレビ中継の実施 市会広報ポスターの作成 など	76,012	76,012	66,734	9,278
	新庁舎整備事業	14,960	14,960	14,960	-

(市会事務局－1)